

〈ユーコープ協力会〉

協力会NEWS

年1回発行

2014年9月

NO. 1

ユーコープ協力会 会長 あいさつ

新生ユーコープの 船出を支援し、期待します



ユーコープ協力会

会長

いの うえ たけし
井上 彪

ユーコープ協力会会員の皆様には、平素より当会活動に一方ならぬご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、安倍政権の経済政策の一つである消費増税は4月に施行され、そのインパクトも落ち着きを取り戻したかのように見受けられますが、継続して円安の影響による輸入原料の高騰は、じわりじわりと製品の値上げという方向に進んでいるように感じられます。

また、東日本大震災復興や東京オリンピックを見据えた建築ラッシュは、資材の高騰もさることながら国内の人手不足を露わにさせています。熾烈な価格競争を展開していた牛井チェーン、身近なところではコスト削減で常に真っ先に取り上げられる物流費など、今までどこかで無理をさせていた部分がかここにて一気に噴出してきました。

さらに世界に目を向けてみますとイラクの内戦、ウクライナ問題などの火種は今後拡大していくのか鎮静されていくのか、遠い国の問題として捉えるわけにはいかないのが現代社会であります。一つ一つの事象の傾き加減が大きく世界経済に影響を及ぼし、ひいては国民生活に降りかかってきます。

このような国内外の変化・問題に対して私たちは「今まで通りの方程式」では乗り越えられないことを認識しなければなりません。製・配・販のいずれかに負担を強いるのではなく三者が一体となってこの難局を乗り越えなければならないと思います。

ユーコープは新しい生協として船出をされました。決して楽な航海ではないというように聞いております。そんな中2020年ビジョンとして掲げた「人と人をつなぎ、生きるを支える」に向かって、会員一同知恵を絞って取り組んでいきたいと思っております。

引き続き、会員企業の皆様のさらなるご支援・ご協力をお願い申し上げます。

第1回ユーコープ協力会総会を開催しました

2014年度より、ユーコープ協力会総会の主催をユーコープ事業連合から生活協同組合ユーコープに変更し、7月29日に第1回生活協同組合ユーコープ協力会総会を新横浜プリンスホテルで開催しました。当日は、310社311人の協力会会員の皆様にご参加いただき、すべての議案について承認いただきました。その後、会員間の交流の場として懇親会を開催し737人が参加されました。



おうちCO-OP横浜北部センターを移転拡張

3月24日、利用組合員の増加に伴い、横浜北部センターを横浜市都筑区佐江戸町から同市緑区青砥町へ移転・拡張しました。配達エリアはそれまでの横浜市緑区・青葉区・都筑区に加え港北区まで拡大し、ユーコープで最大規模の宅配センターとなりました。施設内はLED照明と自然採光の活用による省電力を進め、さらに太陽光発電と蓄電池の設備の併設によって、災害時は一時電源が確保できます。



コープ商品人気投票を開催

コープ商品の良さを伝え合う取り組みとして、組合員へ人気50品目を提示し、好きな商品の一つを選んでいただくよう呼びかけました。投票には職員・パート職員も参加し、約半月でおよそ6万2千票が集まりました。トップ3のコープ商品は以下の通りです。
おうちCO-OP(宅配サービス)・・・1位: だしつゆ四季の味、2位: 若鶏亀田揚げ、3位: 国産素材の長期熟成生みそ
店舗・・・1位: コープ牛乳、2位: 味菜卵、3位: だしつゆ四季の味
 参加者から寄せられた多数の「おすすめコメント」は、各種媒体で活用を進めています。



白根店を全面改装、リニューアルオープン

6月26日、白根店(横浜市旭区・売場面積420坪)がリニューアルオープンしました。2000年に建て替えて以来初めての全面改装です。売場設計には近年開店した大型店の上今泉店(神奈川県海老名市)や湘南辻堂駅前店(同藤沢市)の成功事例を生かしています。地域に根ざし、組合員に喜ばれる店づくりを進め、2015年度に経常剰余を黒字化することをめざしています。



夕食宅配マイシイ、山梨でもスタート

マイシイは、毎日または週3日、夕食をご自宅へお届けする配食サービス事業です。2011年に神奈川県で、2012年からは静岡県でも各一部地域で開始し、順次宅配エリアを拡大してきました。4月21日、いよいよ山梨県内で配達が始まりました。2014年度は神奈川・静岡・山梨県内に7センターを開設する予定で、9月20日現在、3県で24カ所の配食センターが稼働中です。



「人気のさば寿司盛合せ」が大賞受賞

店舗の総菜コーナーで人気のあるさば寿司4種類をアソートした「人気のさば寿司盛合せ」が、2月13日に「スーパーマーケット お弁当・惣菜大賞2014」*の寿司部門で、4,470件の応募の中から最高の大賞を受賞しました。組合員の支持が大変高い商品で、現在総菜の調理加工設備を持つ56店舗で取り扱っています。
 *スーパーマーケットの弁当・惣菜売場の活性化を目的とし、「第48回スーパーマーケットトレードショー2014」会場(東京ビッグサイト)で受賞式が開催されました。



大容量カタログ「DOSA-TTO(ドサット)」登場!

おうちCO-OPで8月18日より「DOSA-TTO」の配布を開始しました。年4回発行、毎週注文できる保存版カタログで、毎回約100品目を取り扱う予定です。

ネーミングで表したのは冷凍ならではの「どっさり買える、買い物楽しさ」。大容量のプロ仕様・業務用という切り口で通常のカタログとはひと味違うワクワク感を提供。加えて介護施設など法人利用も念頭に、やわらか食など冷凍介護食品もそろえています。



宅配サービス料の割引制度を改訂

おうちCO-OPでは、個人宅配の場合、毎週宅配サービス料(税込108円)をいただきますが、乳幼児がいる家庭や高齢の方・障がい者手帳をお持ちの方がいる世帯に割引制度があります。

9月8日注文分より、乳幼児がいる家庭の買い物支援を目的で割引制度を強化し、対象年齢を延長。妊娠中~4歳まで広げ、呼称を「ママ割」としました。同時に高齢の方・障がい者手帳をお持ちの方がいる世帯の割引制度も、対象範囲を一部広げ、「ほほえみ割」としました。



東日本大震災 被災地復興支援を継続しています

2013年度、組合員から寄せられた復興支援募金は1,310万2,452円でした。3年間の累計は約2億5千万円となり、日本生協連を通じての義援金や、組合員とともに被災地を応援するさまざまな取り組みに活用しています。

- **福島の子ども保養プロジェクトの開催** (写真①)
3月27日～31日、相模川自然の村（神奈川県相模原市）で福島の子どもたちにのびのびと遊べる機会を提供しました。
- **組合員が福島の現状を視察** (写真②)
4月10日～11日に静岡県から、7月9日～10日に神奈川県から計70人が福島の市街や産地を回りました。
- **「福島土壌スクリーニングプロジェクト」への組合員ボランティア派遣** (写真③)
組合員16人が、福島の農地の放射性物質分布マップ作りに参加しました。



核兵器のない世界をめざす署名活動を推進

2015年にニューヨーク国連本部でNPT（核不拡散条約）再検討会議が開かれます。ユーコープでは「核兵器禁止条約」の締結に向けた交渉開始が実現するよう、5月より署名活動を行っています。これまでに集まった署名は97,228筆で、来年5月にニューヨークで開かれるNPT再検討会議に届けます。

また、被爆者とサポーター役の組合員有志をニューヨークへ派遣するため、7月より組合員にカンパ募金の呼びかけをスタート。これまでに約250万円お寄せいただきました。
(署名数・募金額は9月19日現在)



ユーコープの店舗で組合員に署名をお願いするユーコープ理事長 菅具伸一

商品検査センターで体験見学会開催

8月6日・8日、ユーコープ商品検査センター（神奈川県厚木市）で「実感・体感 コープ食の安全探検隊」を開催。神奈川・静岡・山梨県から組合員と家族など大人29人子ども32人が参加しました。



両日とも6つのテーマ別体験と館内見学を行い、検査機器に直接触れて検査を行うなど、普段の見学ではできないプログラムを実施。大人も子どももたくさんの発見や驚きを体験し、「ユーコープへの信頼が深まった」との感想をいただきました。

中学校・授産所でも。交通安全教室が好評です

地域の交通安全への貢献を目的に、各地で「おうちCO-OP交通安全教室」を開いています。これまでは幼稚園・保育園で実施してきましたが、茅ヶ崎市役所からの依頼で、3月に初めて中学校で開催しました。当日はグラウンドで本物の配達トラックによる自転車巻き込み事故を再現。生徒たちが事故の恐ろしさを疑似体験できた、と大変好評を得ました。



また、8月には浜松市のたちばな授産所でも開催しました。

職員15人が、岩手で茶美豚の飼料用米の田植え・施設見学

5月21日～22日、おうちCO-OP宅配センター全30事業所中15センターから、代表職員各1人が岩手県花巻市を訪問し、コープの産地指定豚肉「茶美豚（チャーミーポーク）※」に与える飼料用米の田植えを行いました。

さらに日本の自給率の現状や飼料用米の役割を学び、茶美豚の食肉加工場などを見学、生産関係者と交流しました。

10月には残る15センターより各1人が花巻市を訪問する予定です。



※茶美豚は66の指定農場で専用飼料で育てた豚肉です。カテキン（茶葉抽出物）や、さつまいもなどを与え、臭みが少なくうま味のある、やわらかな肉質に仕上がっています。

ユーコープ 理事長 あいさつ

組合員のくらしの変化に対応し、 新しい生協創りを前進させます

暑さも落ち着きさわやかな季節となりましたが、ユーコープ協会の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

生活協同組合ユーコープが発足し、一年半が過ぎました。組織合同でめざした、「経営資源の有効活用」「組織と業務が一体となった運営」も少しながらではありますが、効果を発揮し始めました。何よりも、経営基本方針の「組合員の立場で実践できる人と組織をつくります」に基づく実践事例がさまざまな事業所で現れ、「顧客目線での仕事」に変化の芽が出てきています。これを大切にしながら、スピードを上げ、経営基盤の確立に努力してまいります。

また今年の秋から、2016年度～2018年の中期3カ年計画の準備を開始いたします。2014年度・2015年度でしっかり足元を固めたうえで、次期3カ年ではあらためて「成長軌道」に挑戦してまいりたいと考えています。経営環境は厳しく予断を許しませんが、組合員のくらしの変化に機敏に対応し、成長し続ける新しい生協創りに全力を挙げて邁進いたしますので、皆様方のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



生活協同組合ユーコープ
とう ぐ しん いち
理事長 當具 伸一

ユーコープ協会ニュース第1号
(2014年9月発行)

発行/ユーコープ 協会事務局 横浜市中区桜木町1-1-8 日石横浜ビル22階
発行責任者/ユーコープ協会 会長 井上彪
TEL:045-305-6100 FAX:045-305-6208